

環境活動レポート

【対象期間：2024年度（2023年10月～2024年9月）】



軌道敷緑化

第15版

発行日：2024年12月15日
(2024年度)



環 境 方 針

＜経営理念＞

有限会社 東洋環境企画は 「二酸化炭素排出量の削減」 を経営理念とします。

＜環境理念＞

有限会社 東洋環境企画は、建設業の事業活動において環境負荷の低減を図ることを通じて経営環境を継続的に改善し、自主的・積極的に環境保全への取組を推進することを誓約します。

＜行動方針＞

- 1・環境関連法規、規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 2・二酸化炭素排出量を削減する為に、省エネルギー活動に取り組めます。
- 3・廃棄物の排出量を削減し、循環型又は再生資材製品を使用することに努めます。
- 4・水使用量を削減し、水資源を大切に有効に利用します。
- 5・化学物質を管理します。
- 6・常に緑化保全に努め、屋上緑化・壁面緑化を広め二酸化炭素の排出量を削減します。
- 7・清掃活動を通じて、地域環境のクリーン・アップに貢献します。
- 8・環境教育の実施及び緊急事態の訓練を年1回実施し、環境方針を全従業員に周知させます。



制定日 2010年6月1日

改定日 2020年12月14日

代表取締役 木上 敏光

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社 東洋環境企画
代表取締役 木上 敏光



(2) 所在地

本 社 熊本県熊本市北区頁町1030番地
花園事業所 熊本県熊本市西区花園3丁目24番36号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責 任 者 工事部部長 坂 本 宏 TEL 090-7382-5108
担 当 者 工事部部長 坂 本 宏 TEL 090-7382-5108

(4) 事業内容

建 設 業 : 土木工事業、造園工事業、とび・土工工事業

(5) 事業の規模

年間総売上高 218百万円 (2024年度)
工事件数 30
従 業 員 8名

(6) 事業年度 10月～9月

□認証・登録の対象組織・活動

全 組 織 本 社 熊本県熊本市北区頁町1030番地
花園事業所 熊本県熊本市西区花園3丁目24番36号

活 動 建設業：土木工事業、造園工事業、とび・土工工事業

(全組織・全活動が対象範囲)

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	35,157	47,808	36,236	42,082
二酸化炭素排出係数(電力)		0.370	0.370	0.370	0.370
電力使用量	kWh	2,789	3,905	4,677	4,416
ガソリン使用量	L	7,616	7,229	5,779	5,632
軽油使用量	L	5,852	11,032	7,670	10,284
灯油使用量	L	530	454	526	340
廃棄物排出量	kg	293.7	1,794.4	381.9	240.3
一般廃棄物排出量	kg	206.5	284.7	366.9	215.9
産業廃棄物排出量	kg	87.2	1,509.7	15.0	24.4
総排水量	m ³	914	854.0	717	686

□中期環境目標

※ 新しく2024年度の実績を基準として、年1%減で2025年～2027年3ヶ年の中期環境目標を設定する。

(事業年度：10月～9月)

項 目		年 度	2024年度 10月～9月	2025年度	2026年度	2027年度	
			(基準)	目標 基準年度比	目標 基準年度比	目標 基準年度比	
1. 電力使用量の削減 kg-CO ₂ =KWh × 0.584 0.406:九電排出係数 (電力)	kg-CO ₂		1,793	1,775	1,757	1,739	
	基準年度比		基準	(99%)	(98%)	(97%)	
	kWh		4,416	4,372	4,328	4,284	
2. ガソリン使用量の削減 kg-CO ₂ =L × 2.322 2.322:二酸化炭素排出係数 (ガソリン)	kg-CO ₂		13,067	12,936	12,806	12,675	
	基準年度比		基準	(99%)	(98%)	(97%)	
	L		5,632	5,576	5,519	5,463	
3. 軽油使用量の削減 kg-CO ₂ =L × 2.624 2.624:二酸化炭素排出係数 (軽油)	kg-CO ₂		26,535	26,270	26,004	25,739	
	基準年度比		基準	(99%)	(98%)	(97%)	
	L		10,285	10,182	10,079	9,976	
4. 灯油の使用量の削減 kg-CO ₂ =L × 0.0679 2.624:二酸化炭素排出係数 (灯油)	kg-CO ₂		847	839	830	822	
	基準年度比		基準	(99%)	(98%)	(97%)	
	L		340	337	333	330	
5. 二酸化炭素排出量の削減 (上記1.2.3.4の合計)	kg-CO ₂		42,082	41,661	41,240	40,820	
	基準年度比		基準	(99%)	(98%)	(97%)	
6. 売上高原単位	CO ₂ /百万円			203.7	201.6	199.6	
	基準年度比		基準	(99%)	(98%)	(97%)	
7. 一般廃棄物のリサイクル率 (樹木・草類)	%		100	100	100	100	
8. 産業廃棄物のリサイクル率 (コンクリート・アスファルト)	%		100	100	100	100	
9. 節水(水使用量の削減)	m ³		686	679	672	665	
			基準	(99%)	(98%)	(97%)	
10. 化学物質の管理			在庫管理 と教育	在庫管理 と教育	在庫管理 と教育	在庫管理 と教育	
11. 屋上緑化・壁面緑化の普及推進	工事件数		1	1	1	1	
12. 地域清掃活動 (会社周辺・公園周辺)	回数		2	年2回以上	年2回以上	年2回以上	
				2	2	2	

※ 0.406は九州電力の2023年度排出係数です。

□実施体制図及び役割・責任・権限表



代表取締役 社 長	
環境管理責任者 工事部長	
環境管理委員会	社長・工事部長・工事責任者
電 力	責任者： 社長
燃料（ガソリン・軽油）	責任者： 工事責任者
廃棄物	責任者： 社長
再生資材	責任者： 工事責任者
水	責任者： 取締役
化学物質の管理	責任者： 社長
屋上壁面緑化	責任者： 工事部長
地域清掃活動	責任者： 工事部長

部 門	役割・責任・権限
代表者（社長）	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者、情報を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 経営における課題とリスクの明確化 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境目標・環境活動計画書を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理、 ・ 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・ 環境目標・環境活動計画書を確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・ 環境活動レポートの確認
環境管理委員会	・ 環境目標・環境活動計画の進捗状況のチェック及び問題点の対策
全従業員	・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



□短期の環境目標及びその実績（期間：2023年10月～2024年9月）

（事業年度 10月～9月）

項 目 年 度		2021年度 10月～9月	2024年度 10月～9月(12か月)			
		(基準)	目標	実績	目標達成率	評価
1. 電力使用量の削減 kg-CO2=kWh × 0.370 0.370：九電排出係数（電力）	kg-CO2	1045 (0.370)	1,014	1,634	62%	×
	基準年度比	基準	97%	62%		
	kWh	2,789	2,705	4,416		
2. ガソリン使用量の削減 kg-CO2=L × 2.322 2.322：二酸化炭素排出係数（ガソリン）	kg-CO2	17,683	17,153	13,067	131%	○
	基準年度比	基準	97%	131%		
	L	7,616	7,388	5,632		
3. 軽油使用量の削減 kg-CO2=L × 2.624 2.624：二酸化炭素排出係数（軽油）	kg-CO2	15,135	14,681	26,535	55%	×
	基準年度比	基準	97%	55%		
	L	5,852	5,676	10,285		
4. 灯油使用量の削減 kg-CO2=L × 0.0679 2.624：二酸化炭素排出係数（灯油）	kg-CO2	1,294	1,255	847	148%	○
	基準年度比	基準	97%	148%		
	L	530	514	340		
5. 二酸化炭素排出量の削減 （上記1. 2. 3. 4の合計）	kg-CO2	35,157	34,102	42,082	81%	△
	基準年度比	基準	97%	81%		
6. 売上高原単位	CO2/百万円	205.8	199.6	193.0	103%	○
	基準年度比	基準	97%	103' %		
7. 一般廃棄物のリサイクル率 （樹木・草類）	%	100	100	100	100%	○
		チップ材または堆肥として再利用				
8. 産業廃棄物のリサイクル率 （コンクリート・アスファルト）	%	100	100	100	100%	○
		粉砕して再生材として利用				
9. 節水(水使用量の削減)	m³	960	931	686	136%	○
		基準	97%	136%		
10. 化学物質の管理			在庫管理と教育	入手済み	100%	
11. 屋上緑化・壁面緑化の普及推進	工事件数	1	1	0	0%	×
12. 地域清掃活動 （会社周辺・公園周辺）	回数	2	年2回以上	2回	100%	○
			2			
評価：100%以上は○、99%～81%は△、80%以下は×						
（目標達成率80%以下は是正処置の対象）						

注：1～4は二酸化炭素排出量の削減

注：目標達成率は目標数値÷実績数値で算出

注：0.370は九電の2020年度の排出係数です。

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全く出来なかった

環境活動計画	評価	次年度の取組内容
1. 電力使用量の削減		
待機電力の消灯・こまめの消灯	△	現場員用の事務所を増設したために、電気の消費量が増大した。冬場・夏場になると自宅での冷暖房の時間が増えて、目標を達成できていない月が多くなった。次年度は エアコン使用の工夫を話し合い取り組みたい。
使用しない機器のプラグ抜き	×	
空調機温度の設定・実施の徹底	○	
終業20分前の電力のOFF	△	
2. 3. 自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の削減		
アイドリングストップ	○	ガソリン・軽油等については、落れた工事の内容が基準年度と違い重機や工事車両の使用頻度が多く目標を達成できなかった。現実的には使用量の削減は困難と思われる。しかしエコドライブやアイドリングストップについては出来ているのでこのまま継続する。
急加速・急発進の防止	○	
給油時のタイヤ空気圧チェック	○	
不要な積荷のチェック	○	
4. 灯油使用量の削減		
設定温度や設定時間の調整	○	退室時にはこまめに消化して燃料の消費を抑える。
1. 2. 3. 4による二酸化炭素排出量		
上記1. 2. 3. 4の取組による	－	燃料等の増加は工事の内容や規模・場所による変化と思われるが来年度は基準年度を変更する
売上高原単位		
上記1. 2. 3. 4の取組による	－	燃料等の増加は工事の内容や規模・場所による変化と思われるが来年度は基準年度を変更する
一般廃棄物のリサイクル率		
分別の徹底	◎	100%リサイクル化を達成しているので次年度も継続。
産業廃棄物のリサイクル率		
分別の徹底	◎	100%リサイクル化を達成しているので次年度も継続。
節水（水使用量の削減）		
節水活動の推進	○	今年度は工事現場での水使用はほとんどなかったが、自宅や会社での使用量が少なく目標をクリアした。次年度も節水や地下水利用の検討を進めて取り組みたい。
地下水の利用	－	
節水コマの使用	○	
化学物質の管理		
MSDS入手	◎	全て入手済み
化学物質の在庫管理と教育	◎	在庫管理表作成完了、記録継続中
屋上緑化・壁面緑化の普及推進		
工法・補助金等の勉強会参加	－	勉強会や知識習得の機会は無かった。
地域清掃活動		
会社周辺の清掃活動	◎	実施1回
公園周辺の清掃活動	○	実施1回

□環境目標の達成状況の確認及び評価

項 目	確 認 と 評 価
1. 電力使用量の削減	事務所の待機電力の消灯や自宅の光熱費のこまめのチェックを推進。
2. 燃料使用量の削減	工事内容・規模・場所等の変化が使用量に大きく左右するのでエコドライブを推進。
3. 二酸化炭素削減量	目標に少しでも近づける。
4. 売上高原単位	工事内容・規模・場所等の変化。
5. 一般廃棄物のリサイクル率	100%継続する。
6. 産業廃棄物のリサイクル率	100%継続する。
7. 水使用量の削減	節水活動や水の再利用方法もさらに検討して削減する。
8. 化学物質の管理	在庫管理の管理把握。
9. 屋上緑化・壁面緑化の普及推進	公園工事等の緑化についても提案をして緑化面積を増やしていく。
10. 地域清掃活動	施工にたづさわった公園の清掃。年2回の地元の清掃。

□次年度からの環境活動計画

項 目	具体的な活動
1. 電力使用量の削減	待機電力の消灯・こまめの消灯
	使用しない機器のプラグ抜き
	空調温度の設定・実施の徹底
	終業20分前の電力のOFF グリーン・カーテンの設置（事務所）
2. 3. 自動車燃料（ガソリン・軽油） 使用量の削減	アイドリングストップの徹底
	急加速・急発進の防止
	給油時のタイヤ空気圧チェック
	不要な積荷のチェック
4. 灯油使用量の削減	設定温度や設定時間の調整
（二酸化炭素排出量の削減）	上記1. 2. 3. 4の取組による
売上高原単位	上記1. 2. 3. 4の取組による
5. 一般廃棄物のリサイクル率	分別の徹底・促進
	マニファスト伝票に適切な管理
6. 産業廃棄物のリサイクル率	分別の徹底・促進
	マニファスト伝票に適切な管理
7. 節水（水使用量の削減）	節水の工夫実施
	残り湯は観葉植物へまく。
8. 化学物質の管理	MSDS入手
	化学物質の在庫管理と教育
9. 屋上緑化・壁面緑化の普及推進	工法・補助金等の勉強会参加
	普及推進の為に提案活動が続ける。
10. 地域清掃活動	会社周辺の清掃活動
	公園周辺・現場周辺の清掃活動



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法の改定等はEA21プラザ等で確認更新(2023/12/5)

遵守評価(2023/12/5)

適用される法規制	該当する設備・項目	届出・報告・証拠
建設リサイクル法	建設資材(コンクリート・アスファルト)のリサイクル	届出書
	リサイクル資材(コンクリート・アスファルト)の活用	購入証明書提出
廃棄物処理法	一般廃棄物(樹木・草類)	検収伝票
	産業廃棄物(コンクリート・アスファルト)	契約書、許可証 マニフェスト
	自社運搬(収集運搬)	産業廃棄物運搬表示
騒音規制法	重機(リース)の使用	写真提出
振動規制法	重機(リース)の使用	写真提出
農薬取締法	薬品保管庫(オルトラン粒剤・カルロス乳剤・スプラザイト®乳剤・ディップ®テレックス乳剤・マイリノール)	在庫管理表の常備
毒物及び劇物取締法	薬品保管庫(カルロス乳剤・スプラザイト®乳剤・ディップ®テレックス乳剤)	規制事項(表示、二重施錠)

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されて
いました。なお、違反・訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

- ① 電力使用量では、目標を大きく上回り達成が難しかった。
燃料ではガソリンは達成したが、軽油では未達成。
第四半期の受注が反映して軽油の増大につながったために、全体では
二酸化炭素排出量は未達成であった、
- ② 一般廃棄物や産業廃棄物のリサイクルについては、100%実施できている。
- ③ 水道水の削減は、目標の131%で達成。
- ④ 壁面緑化や屋上緑化の営業受注を目指す。また、緑化助成金を利用した工事を営業で推進する。
- ⑤ 地域清掃活動については、年に2回の清掃活動のまま続行する。
- ⑥ 環境方針・環境目標及び計画・実施体制は変更しない。



eco
エコマーク



【評価・見直しの実施日】
令和5年12月15日
代表取締役 木上 敏光

□環境活動の紹介



本
妙
寺
参
道

2023/12/27



熊
本
県
民
運
動
公
園

2023/11/25



花
園
墓
地

2024/1/20

